

新年のご挨拶

医療法人社団日高会理事長
安藤 哲郎



旧年中は、医療法人社団日高会日高病院の運営にあたり多大なるご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。昨年のコロナウイルス感染症が5類に移行し、徐々にではありますが社会生活が元に戻りつつあることを感じております。そんな中今年元旦には能登半島地震により多くの方がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。また現在も避難生活をよぎなくされている方々にお見舞い申し上げます。日高病院からも1月4日に災害派遣医療チーム「DMAT」を被災地である石川県へ派遣しました。その他にも看護協会に登録している災害リンクナースや薬剤師会を通して被災地で活動したスタッフもおります。今後も継続的支援を行ってまいります。

さて、日高病院は1月から新副院長に石山延吉先生（総合診療内科）、筒井貴朗先生（腎臓内科）、福間裕二先生（泌尿器科）が新たに就任しました。またお隣の平成日高クリニックは新院長に成清一郎先生（呼吸器内科）、副院長に大竹伸明先生（泌尿器科）が就任しました。高橋正樹前院長（内科）は今後も名誉院長職として診療を継続いたします。関原院長、大澤副院長ともどもより地域の先生方との連携を図っていければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

我々は地域医療支援病院として地域住民の皆様および医療機関の先生方に信頼され、満足していただけるよう日々邁進しております。腎臓移植を含めた充実した腎臓病治療チームのほか、総合診療内科、糖尿病、循環器、外科、整形外科、眼科、脳外科、放射線治療、ロボット手術可能な泌尿器科など各科において先進の医療機器と医療技術、そして患者様の満足を第一とする精神をもって誠心誠意の対応をさせていただきます。また急性期医療のみならずリハビリテーションを中心とした回復期医療においても地域に貢献する体制を整えております。

今後も日高会は地域の医療機関および施設の皆様と連携を図り、患者様の満足を第一に考え、安心して安全な医療の提供に努めてまいります。ご指導のほどよろしくお願い致します。

平成日高クリニック 院長就任のご挨拶



院長
成清 一郎

一般内科、呼吸器内科

医学博士
日本内科学会認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会呼吸器専門医
肺がんCT検診認定機構肺がんCT検診認定医
インфекションコントロールドクター（ICD）
臨床研修指導医

2009年より日高病院に内科医として勤務しておりましたが、高橋院長の後を継ぎまして、2024年1月より平成日高クリニック院長を務めさせていただきます成清です。よろしくお願いいたします。

平成日高クリニックは、2003年12月に日高病院がより救急医療や専門医療に特化するために、一般外来部門の分離という目的で開設され21年目を迎えることとなりました。当クリニックでは、日高病院や大学の方々の協力を得て、地域の方々に安心して質の高い医療を提供できる体制を整えています。普段より日高病院とは連携を密にとっており、病院と変わらない診療科数により複数科の診療にも対応しておりますので幅広く様々な症状、疾患の患者さんに対応できます。複数の科の受診が必要な方にはぜひ利用していただけたらと思います。

現在、当院は1日平均約300名を超える患者さんが受診され、透析センターでは500名以上の維持透析患者さんが治療を受けています。多くの患者さんへ多様な医療を提供し日高病院同様に断らない医療を掲げ、地域支援病院である日高病院の外来部門として、より地域にお役にたてる診療所を目指して職員一同頑張りますのでよろしくお願い致します。

あしがき

仕事で疲れた後は、家でゆっくりと大好きなお酒を飲んでリラックスしています。お酒は百薬の長ですが、飲みすぎないように週に2日は休肝日を設けています。いつまでも健康で、美味しいお酒が飲めるよう皆さんと一緒に節酒しましょう。



DMAT活動記録

令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々には心よりご冥福をお祈りいたします。また被災されている方々にはお見舞い申し上げます。

珠洲市

七尾市



日高病院はDMAT指定医療機関であり10名のDMATが在籍しています。1月3日に群馬県より派遣要請を受け、中島医師を中心とした看護師、放射線技師、検査技師5名で編成されたチームを翌4日に石川県へ派遣しました。



Day1 1月4日 (木)

DMATの参集拠点となっている石川県七尾市にある公立能登総合病院内DMAT本部を目指し、上信越道、北陸道を経由するルートで移動を開始した。道路情報がなく、目的地の能登総合病院に到着したのは19:30であった。DMAT本部より、家屋倒壊や道路の割れ、めくれが酷く夜間の活動は危険と判断。1日目のミッションは終了となる。宿泊施設がないため富山市へ戻り宿泊



Day2 1月5日 (金)

- 7:20 公立能登総合病院内DMAT本部に到着。
- 8:00 DMATの全体会議に出席し、活動方針を確認。
- 9:30 災害支援物資をDMAT各隊の運搬車両への振り分け活動を開始。各県の隊員30名が手作業で運んだ。
- 11:00 DMAT本部より、珠洲市総合病院DMAT本部へ移動し、支援するように指示を受ける。
- 11:30 七尾市内で給油や食料等を調達し珠洲市に向けて出発。穴水市、能都町と能登半島を北上していくほど道路崩落や家屋倒壊箇所が増えてきている印象。余震が続いており通行止め箇所が増加、道路崩落箇所に何度も遭遇しルート変更を余儀なくされた。
- 19:50 珠洲市総合病院内DMAT本部に到着。珠洲市内は断水、大部分が停電しインターネット通信は途絶している状態であり、七尾市よりも被害状況は深刻だった。翌日から珠洲市保健医療福祉調整本部で活動するように指示を受け2日目のミッションは終了した。宿泊先がないため、珠洲市総合病院内の一部を借りて夕食をとり、床にテント用マット、寝袋、毛布などを使用して就寝した。



- 7:30 珠洲市保健医療福祉調整本部に到着
- 8:00 全体会議に出席。未確認の4か所の避難所を訪問しスクリーニングを実施するよう指示を受ける。
- 8:30 支援物資(食料、水、トイレ、おむつなど)を車に積み込み目的地へ向け出発。
- 11:30 旧上黒石小学校に到着。避難者の多くが高齢者であった。避難所の状況、避難者の健康状態、服薬情報などを聴取。更に奥に未登録避難所の情報あり。
- 13:00 未登録避難所の上山神社集会場に到着。こちらも高齢者が多数であった。避難所の状況確認と医師・看護師が負傷者の処置を行った。
- 13:40 道路の路肩に停車し昼食。
- 14:00 3か所目の大坊集会場に到着。避難者約10名。避難所の状況、健康状態の確認等を行い、簡易トイレの設置と水の配給を行った。
- 14:40 4か所目の宇都山PAに到着。一般道脇の比較的広いスペースが仮設の避難所となっており、若年者が10名ほど避難していた。簡易テントにブルーシートを巻きつけただけの簡素な造りのため、風がわずかにしのげる程度で暖はたき火でとっていた。避難所の若山小学校に入れなかったためここで生活し、夜は寒いので車で寝ている。水、食料も不足しているため、バッテリー、ラジオ、水、食料を配給した。
- 15:20 5か所目の若山小学校に到着。簡易トイレの説明と乾電池を配給した。
- 15:40 珠洲市保健医療福祉調整本部に到着。活動報告しミッション終了。石川県内に宿泊先がないため、富山市内に手配した。
- 23:00 富山市内宿泊先に到着。



Day4 1月7日 (日)

- 8:00 DAMT本部へ撤収報告。
- 10:00 富山市内宿泊先を出発。北陸道、関越道経由で帰路へ。
- 16:30 日高病院に到着。
- 17:30 解散

--走行距離--



--任務お疲れさまでした--